



岩見沢分校の整備状況：
男子学生寮新築と女子学生寮増築

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 橋本, 良一 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9050

岩見沢分校の整備状況

— 男子学生寮新築と女子学生寮増築 —

橋 本 良 一

男子学生寮（希望寮）の新営工事は、昭和57年7月1日から、女子学生寮（清明寮）に隣接させる形で進められ、昭和58年2月15日に完成した。建物は、鉄筋コンクリート3階建て、延べ1129.94㎡、定員60名の規模で、集中暖房方式が採用されている。

この工事と並行して、昭和53年12月に建てられた女子学生寮（鉄筋コンクリート、3階建て、延べ856.32㎡、定員45名）の増築（鉄筋コンクリート3階建て、延べ246.61㎡、定員15名）工事が進められ、男子学生寮と同時に完成した。

学生寮は、中央に、男子、女子それぞれの共用部分（洗濯・乾燥室、浴室、談話室など）があり、その両端に男子および女子の居室棟が南北方向に配置されている。

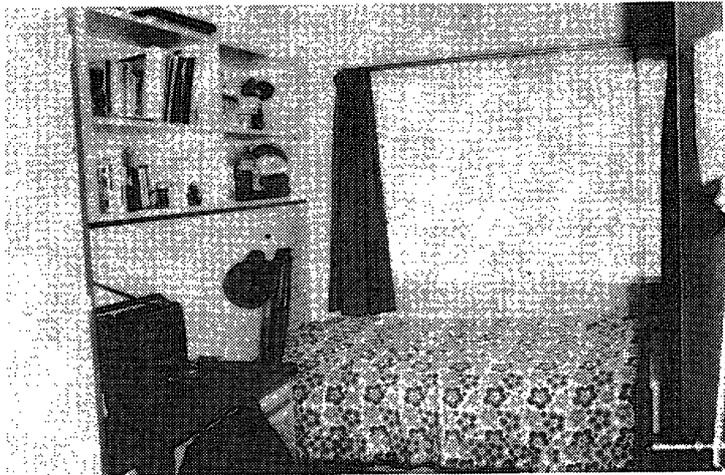
寮内には居室（9.6㎡、机、椅子、ロッカー、ベッド、本棚などを設備）のほか、憩いの場となる談話室（テレビ、ステレオ、ピアノを設備）や日常生活に必要な諸施設として補食室（冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、瞬間湯沸器、食器棚などを設備）、ミシン・アイロン室、洗濯・乾燥室（洗濯機、乾燥機を設備）、浴室（温度調節シャワー設置）がある。事務室には、寮内の連絡用として放送設備、インターフォンが設置され、外部との連絡には電話が2本設置されている。（本分校教授 常務委員長）

※ 学生寮の歴史

昭和11年12月道立青年学校教員養成所寄宿舎として市内並木町17番地に建設（木造平屋）され、希望寮と命名された。昭和14年女子部が創設され、昭和15年現大学本館横の場所に、木造平屋建て5棟の寄宿舎が男子寮として建設され、名称は希望寮がそのまま使用された。女子寮は旧男子寮を使用することになり、清明寮と命名された。



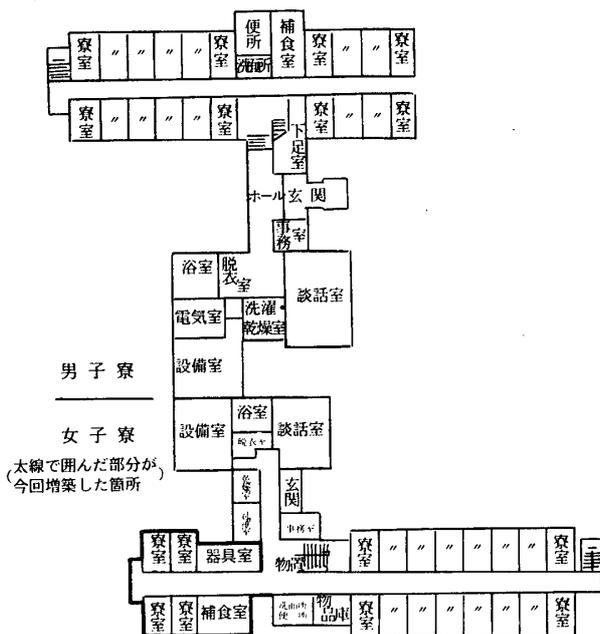
学生寮全景
（右側が男子寮
左側が女子寮）



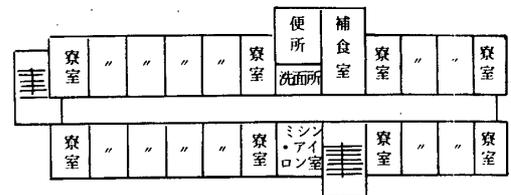
居室



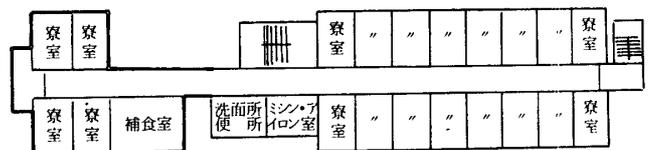
補食室



1階平面図



男子寮 2・3階平面図



女子寮 2・3階平面図